

2023年 5月試験
ファイナンシャル・プランニング技能検定

3級 実技試験

資産設計提案業務

実施日① ◆ 年 月 日

実施日② ◆ 年 月 日

実施日③ ◆ 年 月 日

試験時間 ◆ 60分

★ 注 意 事 項 ★

- ① 問題用紙は試験監督者の指示があるまで開けないでください。
- ② 試験問題は、試験用紙と解答用紙からなっています。解答はすべて解答用紙に記入してください。
- ③ 解答用紙にはあらかじめ受検番号、カナ氏名が印字されていますので、ご自身のものかを確認してから漢字氏名を記入してください。
- ④ 問題数は20問、解答はすべて三択択一式です。
- ⑤ 試験問題については、特に指示のない限り、法令基準日（1月・5月試験は前年10月1日、9月試験はその年の4月1日）現在において施行の法令等に基づいて解答してください。なお、東日本大震災の被災者等に対する各種特例等については考慮しないものとします。
- ⑥ 試験問題の内容に関する質問には一切お答えできません。
- ⑦ 問題用紙・解答用紙に印刷不明瞭や乱丁・落丁があった場合は、お申し出ください。
- ⑧ 解答用紙は試験終了後、回収しますので持ち帰らないでください。問題用紙はお持ち帰りください。
- ⑨ 計算機（電卓）は演算機能のみを有するものだけ使用できます。関数機能やプログラムの入力可能なものは使用できません。
- ⑩ 携帯電話やスマートフォンなどの通信機能を有する機器は電源を切ってカバン等へしまってください（マナーモードも不可）。
- ⑪ 机の上には受検票、本人確認書類、筆記用具（HBの鉛筆またはシャープペンシル、消しゴム）、計算機（電卓）以外のものは置かないでください。
- ⑫ 不正行為防止のため、試験監督者が持ち物の提示を求める場合があります。
- ⑬ 試験問題の音読は慎んでください。
- ⑭ 試験開始後、途中退室は一切できません。

【第1問】 下記の（問1）～（問2）について解答しなさい。

問1

ファイナンシャル・プランニング業務を行うに当たっては、関連業法を順守することが重要である。ファイナンシャル・プランナー（以下「FP」という）の行為に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

1. 税理士資格を有していないFPが、無料の相続相談会において、相談者の持参した資料に基づき、相談者が納付すべき相続税額を計算した。
2. 社会保険労務士資格を有していないFPが、顧客の「ねんきん定期便」等の資料を参考に、公的年金の受給見込み額を試算した。
3. 投資助言・代理業の登録を受けていないFPが、顧客が保有する投資信託の運用報告書に基づき、その記載内容について説明した。

問2

下記は、山岸家のキャッシュフロー表（一部抜粋）である。このキャッシュフロー表の空欄（ア）～（ウ）にあてはまる数値として、誤っているものはどれか。なお、計算に当たっては、キャッシュフロー表中に記載の整数を使用し、計算過程においては端数処理をせず計算し、計算結果については万円未満を四捨五入すること。

<山岸家のキャッシュフロー表>

(単位：万円)

経過年数			基準年	1年	2年	3年	4年
西暦(年)			2023	2024	2025	2026	2027
家族・ 年齢	山岸 雄太	本人	36歳	37歳	38歳	39歳	40歳
	美咲	妻	41歳	42歳	43歳	44歳	45歳
	尚人	長男	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳
	由香	長女	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳
ライフイベント		変動率		尚人 小学校入学			
収入	給与収入(本人)	1%	390			(ア)	
	給与収入(妻)	—	80	80	80	80	80
	収入合計	—	470				486
支出	基本生活費	2%	182	186			
	住宅関連費	—	106		106	106	106
	教育費	—	50		40	40	80
	保険料	—	22		22	22	22
	一時的支出	—					
	その他支出	—	20		20	20	20
	支出合計	—	380		377		425
年間収支		—	90	60		101	(イ)
金融資産残高		1%	1,160	(ウ)		1,459	

※年齢および金融資産残高は各年12月31日現在のものとし、2023年を基準年とする。

※給与収入は可処分所得で記載している。

※記載されている数値は正しいものとする。

※問題作成の都合上、一部を空欄にしてある。

1. (ア) 402
2. (イ) 61
3. (ウ) 1,220

【第2問】 下記の（問3）～（問5）について解答しなさい。

問3

露木さんは、投資信託の費用についてFPの中井さんに質問をした。下記の空欄（ア）～（ウ）にあてはまる語句に関する次の記述のうち、最も適切なものはどれか。

露木さん：投資信託の費用について教えてください。

中井さん：まず、購入する際に「購入時手数料」がかかります。中には、この手数料が無料である「（ア）型」の投資信託もあります。

露木さん：無料もあるのですね。

中井さん：購入時に払う手数料がなくても、保有中に差し引かれる費用がありますよ。「（イ）」といって信託報酬とも呼ばれ、運用にかかる経費として、信託財産の残高から日々、差し引かれます。

露木さん：保有中に差し引かれるということは、長期投資をする場合には気にしておきたいですね。

中井さん：そうですね。また、解約する際に「（ウ）」が差し引かれる投資信託もあります。これは、投資家同士の公平性を期し、投資信託の純資産を安定的に保つ目的です。解約する投資家から徴収して投資信託の純資産に残す趣旨で、手数料とは性格が異なります。

1. （ア）にあてはまる語句は、「オープン」である。
2. （イ）にあてはまる語句は、「口座管理料」である。
3. （ウ）にあてはまる語句は、「信託財産留保額」である。

問4

佐野さんは、預金保険制度の対象となるMA銀行の国内支店に下記〈資料〉の預金を預け入れている。仮に、MA銀行が破綻した場合、預金保険制度によって保護される金額に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

〈資料〉

決済用預金	2,500万円
円定期預金	500万円
円普通預金	200万円
外貨預金	700万円

※ 佐野さんはMA銀行からの借入れはない。

※ 預金の利息については考慮しないこととする。

※ 円普通預金は決済用預金ではない。

1. 決済用預金2,500万円は全額保護される。
2. 円定期預金・円普通預金および外貨預金は、合算して1,000万円が保護される。
3. 円定期預金・円普通預金の合算額700万円は全額保護される。

問5

下記<資料>に基づくMX株式会社の投資指標に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。なお、購入時の手数料および税金は考慮しないこととする。

<資料>

[株式市場に関するデータ]				
◇投資指標	PERと配当利回りの太字は予想、カッコ内は		カッコ内は	
	前期基準、PBRは四半期末基準、		連結ベース	
	PER	PBR	配当利回り (%)	
	(倍)	(倍)	単純平均	加重平均
日経平均採用銘柄	12.62 (13.23)	1.15	2.50 (2.40)	
JPX日経400採用銘柄	13.15 (13.48)	1.32	2.19 (2.08)	2.52 (2.41)
東証プライム全銘柄	13.60 (14.24)	1.18	2.36 (2.25)	2.49 (2.37)
東証スタンダード全銘柄	14.83 (16.51)	0.91	2.15 (2.21)	1.96 (1.94)
東証グロース全銘柄	104.30 (—)	4.05	0.32 (0.28)	0.21 (0.19)
株式益回り (東証プライム全銘柄)			予想	7.35%
			前期基準	7.02%

(出所：日本経済新聞 2022年9月17日朝刊)

[MX株式会社に関するデータ]

株価	4,500円
1株当たり純利益 (今期予想)	685円
1株当たり純資産	5,150円
1株当たり年間配当金 (今期予想)	150円

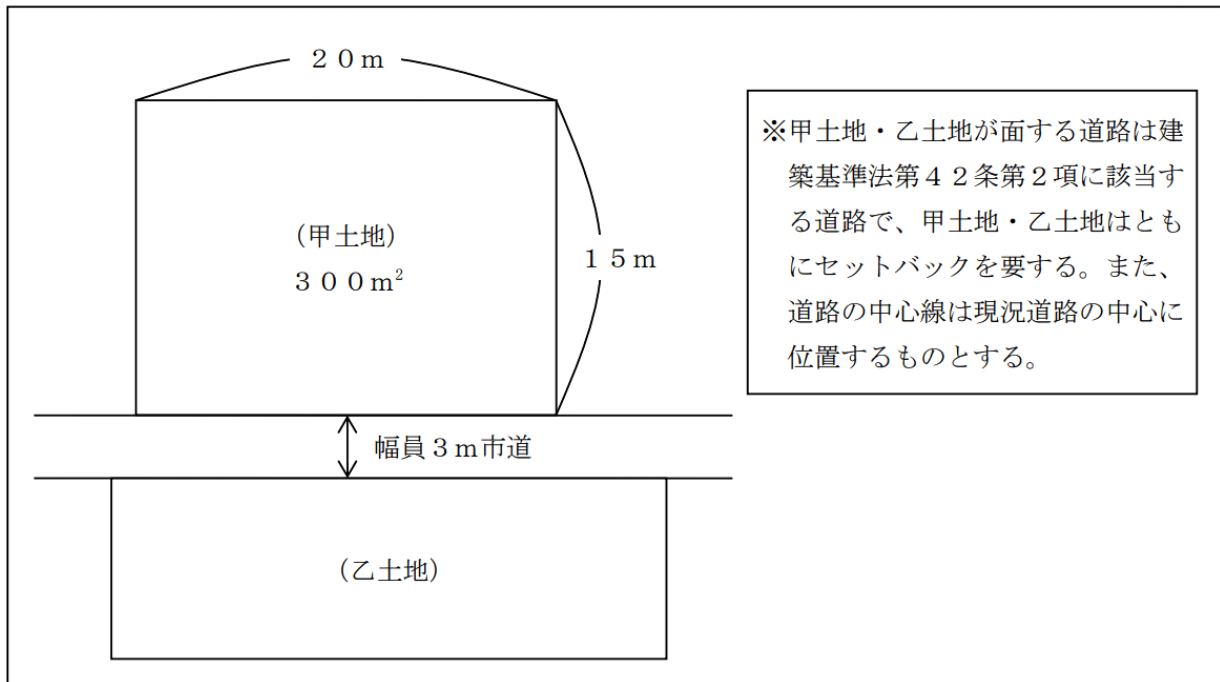
1. 株価収益率 (PER) で比較した場合、MX株式会社の株価は日経平均採用銘柄の平均 (予想ベース) より割安である。
2. 株価純資産倍率 (PBR) で比較した場合、MX株式会社の株価は東証プライム全銘柄の平均より割高である。
3. 配当利回りで比較した場合、MX株式会社の配当利回りは東証グロース全銘柄の単純平均 (予想ベース) より高い。

【第3問】 下記の（問6）～（問7）について解答しなさい。

問6

下記<資料>の甲土地の建築面積の最高限度を算出する基礎となる敷地面積として、正しいものはどれか。なお、この土地の存する区域は、特定行政庁が指定する区域に該当しないものとし、その他記載のない条件については一切考慮しないこととする。

<資料>

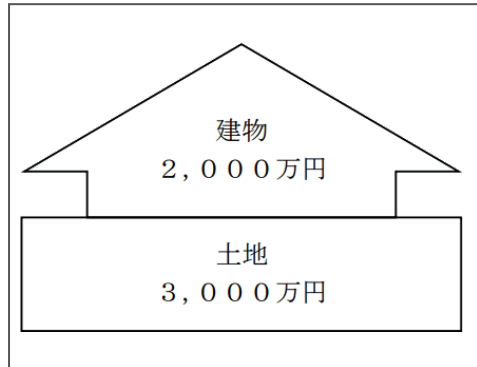


1. 260 m²
2. 280 m²
3. 290 m²

問7

井上さんは、下記<資料>の物件の購入を検討している。この物件の購入金額（消費税を含んだ金額）として、正しいものはどれか。なお、<資料>に記載されている金額は消費税を除いた金額であり、消費税率は10%として計算すること。また、記載のない条件については一切考慮しないこととする。

<資料>




1. 5,200万円
2. 5,300万円
3. 5,500万円

【第4問】 下記の（問8）～（問10）について解答しなさい。

問8

明石誠二さんが加入しているがん保険（下記＜資料＞参照）の保障内容に関する次の記述の空欄（ア）にあてはまる金額として、正しいものはどれか。なお、保険契約は有効に継続しているものとし、誠二さんはこれまでに＜資料＞の保険から保険金および給付金を一度も受け取っていないものとする。

＜資料＞

保険証券記号番号 (〇〇〇) △△△△△		保険種類 がん保険 (愛称 *****)	
保険契約者	明石 誠二 様	保険契約者印 	◇契約日 (保険期間の始期) 2018年8月1日 ◇主契約の保険期間 終身 ◇主契約の保険料払込期間 終身
被保険者	明石 誠二 様 契約年齢 58歳 男性		
受取人	(給付金) 被保険者 様	受取割合 10割	
	(死亡給付金) 明石 久美子 様 (妻)		
◆ご契約内容		◆お払い込みいただく合計保険料	
主契約	がん入院給付金 1日目から 日額10,000円 がん通院給付金 日額5,000円 がん診断給付金 初めてがんと診断されたとき 200万円 手術給付金 1回につき 手術の種類に応じてがん入院給付金日額の10倍・20倍・40倍 死亡給付金 がん入院給付金日額の100倍 (がん以外の死亡の場合は、がん入院給付金日額の10倍)	毎回	×, ×××円
		[保険料払込方法] 月払い	

誠二さんは、2023年中に初めてがん（膵臓がん、悪性新生物）と診断され、がんの治療で42日間入院し、がんにより病院で死亡した。入院中には手術（給付倍率20倍）を1回受けている。2023年中に支払われる保険金および給付金は、合計（ア）である。

1. 1,620,000円
2. 2,720,000円
3. 3,620,000円

問9

会社員の村瀬徹さんが加入している生命保険は下表のとおりである。下表の保険契約A～Cについて、保険金が支払われた場合の課税に関する次の記述のうち、最も適切なものはどれか。

	保険種類	保険契約者 (保険料負担者)	被保険者	死亡保険金 受取人	満期保険金 受取人
契約A	終身保険	徹さん	徹さん	妻	—
契約B	特定疾病保障保険	徹さん	妻	子	—
契約C	養老保険	徹さん	徹さん	妻	徹さん

1. 契約Aについて、徹さんの妻が受け取る死亡保険金は贈与税の課税対象となる。
2. 契約Bについて、徹さんの子が受け取る死亡保険金は相続税の課税対象となる。
3. 契約Cについて、徹さんが受け取る満期保険金は所得税・住民税の課税対象となる。

問10

損害保険の種類と事故の内容について記述した次の1～3の事例のうち、契約している保険で補償の対象になるものはどれか。なお、いずれの保険も特約などは付帯していないものとする。

	事故の内容	契約している保険種類
1	勤務しているレストランで仕事中にヤケドを負い、その治療のために通院した。	普通傷害保険
2	噴火により保険の対象となる建物に噴石が衝突して屋根に穴が開いた。	住宅総合保険
3	原動機付自転車（原付バイク）で買い物に行く途中で他人の家の塀に接触して塀を壊してしまい、法律上の損害賠償責任を負った。	個人賠償責任保険

【第5問】 下記の（問11）～（問12）について解答しなさい。

問11

下記＜資料＞に基づき、目黒昭雄さんの2023年分の所得税を計算する際の所得控除に関する次の記述のうち、最も適切なものはどれか。

＜資料＞

氏名	続柄	年齢	当年分の所得等	備考
目黒 昭雄	本人（世帯主）	50歳	給与所得620万円	会社員
聡美	妻	48歳	給与所得100万円	パート
幸一	長男	21歳	所得なし	大学生
浩二	二男	14歳	所得なし	中学生

※ 2023年12月31日時点のデータである。

※ 家族は全員、昭雄さんと同居し、生計を一にしている。

※ 障害者または特別障害者に該当する者はいない。

1. 妻の聡美さんは控除対象配偶者となり、昭雄さんは38万円を控除することができる。
2. 長男の幸一さんは特定扶養親族となり、昭雄さんは63万円を控除することができる。
3. 二男の浩二さんは一般の扶養親族となり、昭雄さんは38万円を控除することができる。

問 1 2

杉野さん（67歳）の2023年分の公的年金等の収入金額は300万円である。杉野さんの2023年分の公的年金等の雑所得の金額として、正しいものはどれか。なお、杉野さんは公的年金等以外に収入はないものとする。

<公的年金等控除額の速算表>

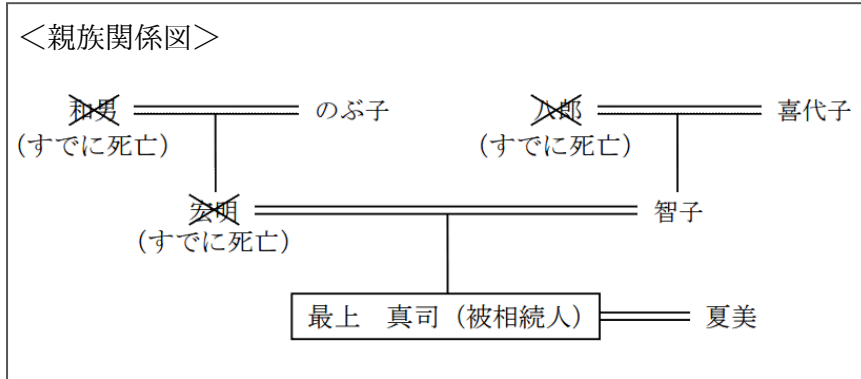
納税者区分	公的年金等の収入金額（A）	公的年金等控除額
		公的年金等に係る雑所得以外の所得に係る合計所得金額 1,000万円以下
65歳未満の者	130万円以下	60万円
	130万円超 410万円以下	$(A) \times 25\% + 27.5$ 万円
	410万円超 770万円以下	$(A) \times 15\% + 68.5$ 万円
	770万円超 1,000万円以下	$(A) \times 5\% + 145.5$ 万円
	1,000万円超	195.5万円
65歳以上の者	330万円以下	110万円
	330万円超 410万円以下	$(A) \times 25\% + 27.5$ 万円
	410万円超 770万円以下	$(A) \times 15\% + 68.5$ 万円
	770万円超 1,000万円以下	$(A) \times 5\% + 145.5$ 万円
	1,000万円超	195.5万円

1. 110万円
2. 190万円
3. 197.5万円

【第6問】 下記の（問13）～（問15）について解答しなさい。

問13

2024年5月2日に相続が開始された最上真司さん（被相続人）の＜親族関係図＞が下記のとおりである場合、民法上の相続人および法定相続分の組み合わせとして、最も適切なものはどれか。なお、記載のない条件については一切考慮しないこととする。



1. 夏美 2/3 智子 1/3
2. 夏美 2/3 智子 1/6 のぶ子 1/6
3. 夏美 3/4 智子 1/12 のぶ子 1/12 喜代子 1/12

問14

F Pで税理士でもある長谷川さんは、池谷光雄さんと妻の紀子さんから贈与税の配偶者控除に関する相談を受けた。池谷さん夫婦からの相談内容に関する記録は下記<資料>のとおりである。この相談に対する長谷川さんの回答の空欄（ア）、（イ）にあてはまる数値の組み合わせとして、最も適切なものはどれか。

<資料>

[相談記録]

相談日：2024年5月3日

相談者：池谷光雄様（57歳） 池谷紀子様（53歳）

相談内容：贈与税の配偶者控除を活用して、光雄様所有の居住用不動産を紀子様に贈与したいと考えている。贈与税の配偶者控除の適用要件や控除額について知りたい。

[長谷川さんの回答]

「贈与税の配偶者控除の適用を受けるためには、贈与があった日において、配偶者との婚姻期間が（ア）年以上であること等の所定の要件を満たす必要があります。また、贈与税の配偶者控除の額は、最高（イ）万円です。」

1. （ア）10 （イ）1,000
2. （ア）20 （イ）1,000
3. （ア）20 （イ）2,000

問15

杉山さんは、家族のために遺言書を作成することを考えている。公正証書遺言に関する次の記述の空欄（ア）～（ウ）にあてはまる語句の組み合わせとして、最も適切なものはどれか。

公正証書遺言は、遺言者が遺言内容を口述し、（ア）が筆記したうえで、遺言者・証人に読み聞かせ、または閲覧させて作成することを原則とし、その作成に当たっては、（イ）以上の証人の立会いが必要とされる。なお、公正証書遺言については、家庭裁判所による検認が（ウ）とされている。

1. （ア）公証人 （イ）2人 （ウ）必要
2. （ア）公証人 （イ）2人 （ウ）不要
3. （ア）裁判官 （イ）1人 （ウ）不要

【第7問】 下記の（問16）～（問20）について解答しなさい。

《設 例》

川野恭平さんは株式会社RBに勤務する会社員である。恭平さんは今後の生活設計について、FPで税理士でもある青山さんに相談をした。なお、下記のデータはいずれも2024年4月1日現在のものである。

[家族構成（同居家族）]

氏名	続柄	生年月日	年齢	備考
川野 恭平	本人	1989年 3月10日	35歳	会社員
亜美	妻	1989年 4月11日	34歳	会社員
潤	長女	2020年11月 3日	3歳	

[保有財産（時価）]（単位：万円）

金融資産	
普通預金	120
定期預金	100
投資信託	40
上場株式	110
生命保険（解約返戻金相当額）	15
不動産（自宅マンション）	3,500

[負債残高]

住宅ローン（自宅マンション）：3,400万円（債務者は恭平さん、団体信用生命保険付き）

[その他]

上記以外については、各設問において特に指定のない限り一切考慮しないものとする。

問16

F Pの青山さんは、川野家のバランスシートを作成した。下表の空欄（ア）にあてはまる金額として、正しいものはどれか。なお、＜設例＞に記載のあるデータに基づいて解答することとする。

＜川野家のバランスシート＞

（単位：万円）

[資産]	×××	[負債]	×××
		負債合計	×××
		[純資産]	(ア)
資産合計	×××	負債・純資産合計	×××

1. 370（万円）
2. 470（万円）
3. 485（万円）

問17

恭平さんと亜美さんは、今後10年間で毎年24万円ずつ積立貯蓄をして、潤さんの教育資金を準備したいと考えている。積立期間中に年利1.0%で複利運用できるものとした場合、10年後の積立金額として、正しいものはどれか。なお、下記＜資料＞の3つの係数の中から最も適切な係数を選択して計算し、解答に当たっては万円未満を切り捨てること。また、税金や記載のない事項については一切考慮しないこととする。

＜資料：係数早見表（年利1.0%）＞

	終価係数	年金現価係数	年金終価係数
10年	1.105	9.471	10.462

*記載されている数値は正しいものとする。

1. 265万円
2. 251万円
3. 227万円

問18

恭平さんは、会社の定期健康診断で異常を指摘され、2024年3月に3週間ほど入院をして治療を受けた。その際病院への支払いが高額であったため、恭平さんは健康保険の高額療養費制度によって払い戻しを受けたいと考え、FPの青山さんに相談をした。恭平さんの2024年3月の保険診療に係る総医療費が80万円であった場合、高額療養費制度により払い戻しを受けることができる金額として、正しいものはどれか。なお、恭平さんは全国健康保険協会管掌健康保険（協会けんぽ）の被保険者で、標準報酬月額が「38万円」である。また、恭平さんは限度額適用認定証を病院に提出していないものとする。

<70歳未満の者：医療費の自己負担限度額（1ヵ月当たり）>

標準報酬月額	医療費の自己負担限度額
83万円以上	252,600円 + (総医療費 - 842,000円) × 1%
53万～79万円	167,400円 + (総医療費 - 558,000円) × 1%
28万～50万円	80,100円 + (総医療費 - 267,000円) × 1%
26万円以下	57,600円
市町村民税非課税者等	35,400円

※高額療養費の多数該当および世帯合算については考慮しないものとする。

1. 85,430円
2. 154,570円
3. 714,570円

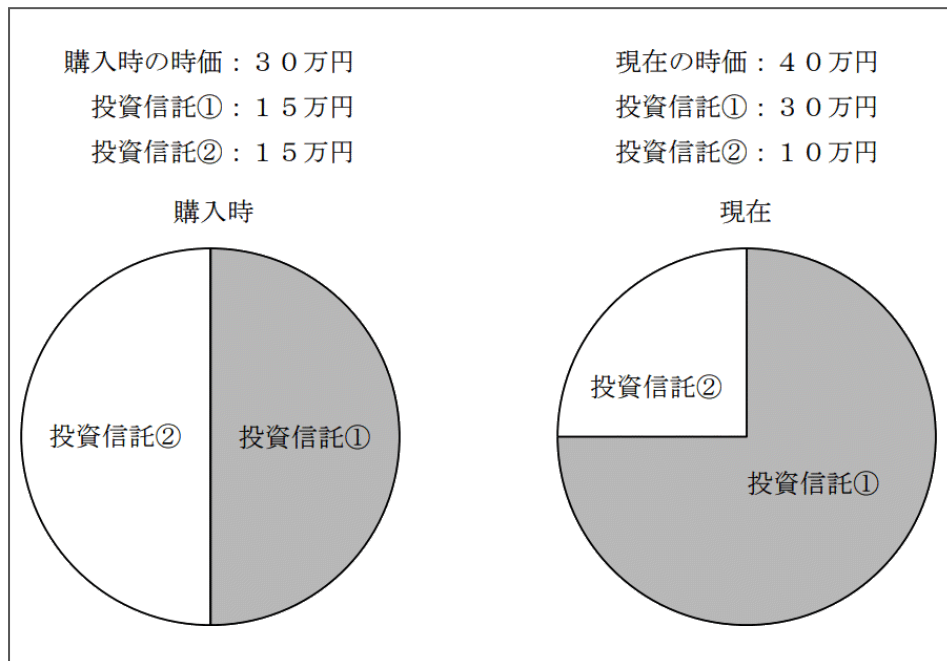
問19

亜美さんは、間もなく第二子を出産予定で、出産後は子が1歳になるまで育児休業を取得しようと思っている。育児休業期間中の健康保険および厚生年金保険の保険料の免除に関する次の記述のうち、最も適切なものはどれか。なお、亜美さんは全国健康保険協会管掌健康保険（協会けんぽ）の被保険者であり、かつ厚生年金保険の被保険者である。

1. 事業主の申出により、被保険者負担分のみ免除される。
2. 事業主の申出により、事業主負担分のみ免除される。
3. 事業主の申出により、被保険者および事業主負担分が免除される。

問20

恭平さんが保有する投資信託は、投資信託①と投資信託②であり、5年前にそれぞれ15万円ずつ合計30万円を購入したものである。恭平さんは「リバランス」に興味をもち、FPの青山さんに質問をした。下記の空欄（ア）～（ウ）にあてはまる語句に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。なお、手数料は考慮しないものとする。



<青山さんの説明>

リバランスとは、時間の経過とともに運用当初に決めた（ア）がずれて、当初目的とした投資効果が薄れてしまうことを回避する方法の一つです。恭平さんが資金の追加や削減を行わない場合、投資信託①を（イ）して、投資信託②を（ウ）すると、運用当初の（ア）になります。

1. （ア）にあてはまる語句は、「配分比率」である。
2. （イ）にあてはまる語句は、「15万円分売却」である。
3. （ウ）にあてはまる語句は、「10万円分購入」である。

《模範解答》

問番号	解答
問1	1
問2	3
問3	3
問4	2
問5	2
問6	3
問7	1
問8	3
問9	3
問10	1
問11	2
問12	2
問13	1
問14	3
問15	2
問16	3
問17	2
問18	2
問19	3
問20	2